

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 70代	低カルシウム血症 続発性副甲状腺機能亢進症 (慢性腎臓病)	0.5 $\mu$ g 1日間	<p>アナフィラキシーショック</p> <p>投与6ヶ月前 カルシトリオール（カプセル）投与開始。 投与3ヶ月前 大動脈弁置換手術を施行するため、カルシトリオール（カプセル）投与中止。 内服中に発疹等のアレルギー所見なし。</p> <p>投与開始日 血液透析終了後に本剤0.5 <math>\mu</math>gを静注にて投与開始。 投与終了10分後 全身そう痒，紅潮，膨疹出現。 投与終了18分後 血圧：76/43mmHg，経皮的動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）：91%。 腹痛発現。 輸液，酸素吸入（2L），ステロイド薬静注，抗ヒスタミン薬投与開始。</p> <p>投与終了43分後 血圧：112/55mmHg，SpO<sub>2</sub>：100%。 腹痛は消失，全身そう痒は軽快。 近隣の病院に救急搬送され，入院観察。ステロイド剤，H<sub>2</sub>ブロッカー，H<sub>1</sub>+H<sub>2</sub>ブロッカーが3日分処方された。</p> <p>投与1日後 退院。 投与2ヶ月後 血液透析を継続中。</p>